


マイタイムライン 記載例②

Bさん一家
●家族構成
2人世帯（夫婦のみ）

●家の立地
家の前に大きな河川が流れている

手順1
確認しよう！


①ハザードマップ（総務課 危機管理担当で配布しています）
該当する市ホームページはこちら⇒ 

ハザードマップで「自分の家が安全か・危険か」をチェック！

家の近くに大きな川、または、家の裏に山がある

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）内にある 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）内にある

1つでも当てはまる場合は「**自宅以外の安全な場所**」へ避難しましょう！


②避難する場所（市が指定する避難所の名前：**旭小学校**）
該当する市ホームページはこちら⇒ 

「どこに避難するのか」をチェック！

①がすべて当てはまらない場合で、自宅が頑丈な建物の場合 → 在宅避難（自宅に留まる）を検討！


自宅が危険な場所にある（①で1つでもチェックがある）場合 → 市が指定する避難所への避難を検討！

安全な場所にあり、頑丈な建物の知人・親戚の家へ避難 → 候補1（谷村のお母さん）の家 候補2（浜田さん）の家

③避難するタイミング
該当する市ホームページはこちら⇒ 

【危険な場所に住む方】「いつ避難するのか」をチェック！

- お年寄り・小さなお子様・妊婦がいて避難に時間がかかる場合
→ 『警戒レベル3 高齢者等避難』で避難
- 上記以外で、自宅が土砂災害警戒区域や河川の近くにある場合
→ 『警戒レベル4 避難指示』で避難

④避難情報の取得方法
該当の市HP⇒ 

「避難情報の取得方法」をチェック！

- 防災つるメール 市ホームページ
- 防災都留ツイッター CATV（11CH）
- 電話応答サービス（☎0554-23-6066）
- データ放送（NHKの画面でdボタンを押す）

手順2
「マイタイムライン」を作ってみよう！

『いつ・誰が・何をするのか』を考えてみよう！
※「時間の目安」や「警戒レベル」の発令を基準にして考えてみましょう

時間の目安	台風発生	3～1日前	半日前～数時間前	台風最接近（直撃）
警戒レベル（避難情報）	『警戒レベル1・2』 自主避難などの注意の呼びかけ	『警戒レベル3』 高齢者等避難	『警戒レベル4』 避難指示	『警戒レベル5』 緊急安全確保
参考とする気象情報	雨と風の情報 大雨・強風注意報	大雨・暴風警報	大雨・暴風警報	大雨特別警報
参考とする気象情報	土砂災害の情報 ◆注意（注意報級） ◆は土砂災害の危険度分布（メッシュ情報）になります	◆警戒（警報級）	土砂災害警戒情報 ◆非常に危険 ◆極めて危険	すでに土砂災害が発生している可能性あり
警戒レベルが出た時に自分が取るべき行動	ここに書こう！ ・テレビとインターネットで今後の台風について調べる ・避難所を確認する ・食べ物・飲み物をスーパーに買いに行く 例 ・今後の台風について調べ始める ・避難する時に持っていくものを準備する ・飲食品、常備薬の購入	・谷村のお母さん家に避難する場合は、警戒レベル3で早めに避難 ・市のホームページをチェック ・避難するものをチェックする ・携帯電話を充電しておく ・カッパを用意する ・ジャージに着替える 例 ・インターネット等で情報を集める ・動きやすい服装に着替え、避難の準備 ・避難所が開設されているかを確認する ・隣の一人暮らしのおばあちゃんに声をかける	・警戒レベル4で避難開始 ・谷村のお母さんに避難所に避難したことを電話する ・火の元と戸締りを確認する 例 ・火の元、戸締りを確認する ・携帯電話、飲食品等の避難に持っていくものを最終チェックする ・親戚、知人に避難することを連絡する ・避難を開始する。	台風が過ぎるまで避難所で過ごす 例 避難が難しい場合は、命を守るための行動（斜面反対側の2階へ移動するなど）